

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 羅臼町立春松幼稚園 (※正式名称を記載)
種 別 ☒ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他（例：小中高一貫）
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む
所在地 〒 086-1836
北海道目梨郡羅臼町八木浜町407番地
E-mail bz7592050@bz01.plala.or.jp
Website _____
幼児児童生徒数 男子 22 名 女子 36 名 合計 58 名
幼児・児童・生徒の年齢 3 歳～5 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当園は、「地域の人，ものとのかかわりを大切」にした活動をテーマとして，ESDを主体的な遊びや活動につながると捉え，移り変わる（豊かな）自然環境の中で自由に発想し，豊かな経験を積み重ね安定して自分を発揮する力や，がんばる力，他者との関係性を築く力などの育成を目標とした。

具体的には、①地域の人，ものとの係わる活動、②自然環境に係わる教育、③身近な生き物に係わる学習、④羅臼の昔に係わる学習を行った。

① 「地域の人，もの」とに係わる活動

羅臼漁協市場，道に駅（海鮮工房等）では，羅臼でとれるいろいろな魚やそこで働く人の仕事や地域の人たちに興味をもつようになった。

② 自然環境に係わる教育

四季を通じて知床の自然にたっぷりとひたり，自然環境のすばらしさを五感で感じるなど，生まれ育った羅臼のすばらしさを知ること興味をもてた。

③ 身近な生き物に係わる学習

クマ学習では、身近な自然や生き物について興味・関心をもち，生命の尊さに気づき，やさしい気持ちで大切にしようという心が育っていた。

④ 羅臼の昔に係わる学習

郷土資料館見学では，館内の資料見学や土玉作り・せんべい焼体験をし，今とは違う羅臼の古い歴史を知り学びにつながった。



① 市場見学



② 海遊び



③ クマ学習



④ せんべい焼

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

発達段階に応じた3年間の指導の中で、活動ができるように計画している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度初、年間指導計画を製作し、全職員で確認し取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

保護者の幼稚園アンケートにより評価をいただき、町教委、幼稚園評議員より関係者評価として意見をもらう。園児への提示の仕方、環境の持ち方の改善等活動の見直しができた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

園だより、ブログにして発信している。町内ユネスコスクール発表会へ作品展示による参加をしている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（２００字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

代表を研究会等へ派遣し交流ができた。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

地域の自然産業等への興味・関心を高めることができた。
（漁業協同組合等様々な機関との連携を図ることができた）

- （3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

今までの活動を継続しながら昆布を窓口としてさらに地域への興味・関心を高めていく「海洋教育プログラム」に参加していく。